池田町横断歩道橋個別施設計画

令和7年8月（変更）

北海道池田町　建設水道課

1. 個別施設計画の目的

池田町が管理する歩道橋を良好な管理の下に末永く利用していくためには、定期点検等により現状を正確に把握し、これまでの事後保全から予防保全へ転換を図ることにより、道路ネットワークの安全性・信頼性を向上させるとともに、修繕に要する費用の縮減を図ることが重要である。
このことから、これらをより効率的・具体的に実施していくため、個別施設計画を策定するものとする。

2. 個別施設計画の対象歩道橋

町道種別		その他
横断歩道橋		1
	策定計画対象横断歩道橋	1

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1）健全度の把握の基本的な方針
5年に1回の法定点検及び日常のパトロール等により、損傷の把握を適切に行い記録する。

2）日常的な維持管理に関する基本的な方針
法定点検や日常のパトロールを適切に実施し、歩道橋を良好な状態に保つことに努める。

4. 歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに関する費用縮減に関する基本的な方針

1）基本的方針
点検等により把握した損傷に対して、劣化が進行し修繕費用が増大しないよう補修を実施することで、ライフサイクルコストの縮減を図る。

2）対象橋梁の状態（令和3年度点検結果）
健全度Ⅲ　高欄の腐食等が進んでいる状態である。

5. 歩道橋の次回点検時期及び修繕内容・時期または計画更新時期

詳細点検結果等を踏まえて、歩道橋の健全度や損傷状況を考慮し劣化予測を行い、総合的に判断したうえで修繕計画を更新する。

対象施設の次回点検時期及び修繕内容・時期または計画更新時期

凡例：<------->対策を実施すべき期間を示す

施設名	道路種別	路線名	架設年度	供用年数	施設延長(m)	幅員(m)	種類	所在地(緯度経度)	最新点検年次	修繕計画	対策の内容・時期 2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)	事業費(百万円)
池田南歩道橋 維持管理区分：A	その他	東2条3号通	1973 (S48)	52	14.9	1.5	鋼溶接橋 (1桁) 鋼床版	42.91806 143.45500	2021 (R3)	対策内容	個別計画更新	<--------> 3回目点検	個別計画更新		<--------> 修繕塗装塗替		<--------> 4回目点検	個別計画更新		
										事業費		1.0			80.0		1.0			82.0

6. 個別施設計画を策定したことによる効果

	修繕計画と評価	
路線の位置付け	当該路線はJR池田駅に隣接し、十勝地方の観光名所であるワイン城に通じる歩道橋である。毎年開催される十勝の代表的なイベントであるワイン祭り開催時には、特に多くの観光客が訪れ、池田町の重要な観光アクセス路線となっている。	
修繕内容	1）修繕箇所　a）池田南歩道橋　転落防護柵腐食箇所、鋼材腐食箇所 2）修繕内容　a）断面修復工 ：2箇所（修繕済） b）防護柵腐食鋼材修繕 ： 1式（修繕済） c）歩道橋塗替修繕：1式 3）修繕費　80,000,000円	
	修繕実施の場合	修繕未実施の場合
損傷部位の状況	健全度の回復	健全度の低下 応急箇所の劣化が進行し修繕範囲が拡大
コスト	最小限（コスト縮減効果） 80，000，000円	修繕範囲拡大に伴うコスト上昇 （ 80，000，000円＜未実施の場合 ）
第三者被害	第三者被害の回避	第三者被害発生の恐れ （歩行者および軌道に対して）

7. 新技術等の活用方針及び費用の縮減に関する具体的な方針

1）定期点検の効率化や費用縮減を図るため、3巡目以降の定期点検から新技術の活用を検討し、令和8年度までに約10万円のコスト縮減を目指します。令和11年度に実施予定である修繕工事において、新技術の活用について比較検討を行い、約100万円のコスト縮減を目指します。

2）いけだワイン城へのアクセスにおいて重要な機能を有している横断歩道橋であり、
集約化・撤去による社会的な影響が大きく困難であることから、該当する施設はありません。
集約化・撤去に該当する施設がないため、短期の数値目標はありません。

8. 計画策定担当部署

北海道池田町建設水道課　Tel　015-572-3269